

平成28年度行政事業レビューシート(法務省)

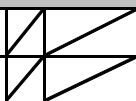
事業名	社会復帰に必要な刑務所作業の実施			担当部局庁	矯正局			作成責任者		
事業開始年度	不明	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務課			総務課長 島 孝一		
会計区分	一般会計									
根拠法令(具体的な条項も記載)	刑事収容施設及び被収容者等の処遇に関する法律等			関係する計画、通知等	犯罪に強い社会の実現のための行動計画2008 「世界一安全な日本」創造戦略 再犯防止に向けた総合対策					
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	懲役刑は、刑法において、「刑事施設に拘置して所定の作業を行わせる。」と定められており、刑務所、少年刑務所などの刑事施設において、懲役受刑者を釈放後の就労に有利な刑務作業に従事させ、技術を習得させることで、釈放後の円滑な社会復帰に資することを目的としている。									
事業概要(5行程度以内。別添可)	刑務所、少年刑務所等の刑事施設に収容された懲役受刑者は、刑法が定める「所定の作業」を行う義務を負っており、刑務作業は、規則正しい勤労生活の維持、規律ある生活態度の醸成、勤労意欲の向上、職業的な知識や技能の習得など、矯正処遇の根幹となる事業である上、民間企業からの受注によって得た作業収入は、国家財政に少なからず寄与している。									
実施方法	直接実施									
予算額・執行額(単位:百万円)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求			
	予算の状況	当初予算	4,459	4,326	4,219	4,092	-			
		補正予算	321	72	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
	計		4,780	4,398	4,219	4,092	0			
執行額		4,681	4,304	4,161	-					
執行率(%)		98%	98%	99%	-					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	-	-	成果実績	-	-	-	-	-	-	
	-	-	目標値	-	-	-	-	-	-	
	-	-	達成度	%	-	-	-	-	-	
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								<input type="checkbox"/> チェック		
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と25~27年度の達成状況・実績					
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 28 年度	目標最終年度 - 年度
	刑法で義務付けられている所定の作業について、毎年度、前年度より就業者の割合を増加させる。	受刑者全体に占める就業率(1日平均就業人員/1日平均収容人員)	実績	%	97	97	97	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	刑法で義務付けられている所定の作業の実施、矯正処遇として就労に有利な作業に従事させ、技術を習得させている。			活動実績	施設	77	77	77	-	
				当初見込み	施設	77	77	77	77	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	実績額/施設数(百万円/施設数)			単位当たりコスト	百万円	61	56	54	-	
			計算式	百万円/施設	4,681/77	4,304/77	4,161/77	-		

平成28・29年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由
	被収容者作業報奨金・諸謝金	1,912	-	-
	作業業務旅費	116	-	
	作業諸費	1,954	-	
	作業場等借料・原材料費	98	-	
	賠償償還及払戻金	1	-	
	被収容者作業死傷手当	11	-	
	計	4,092	0	

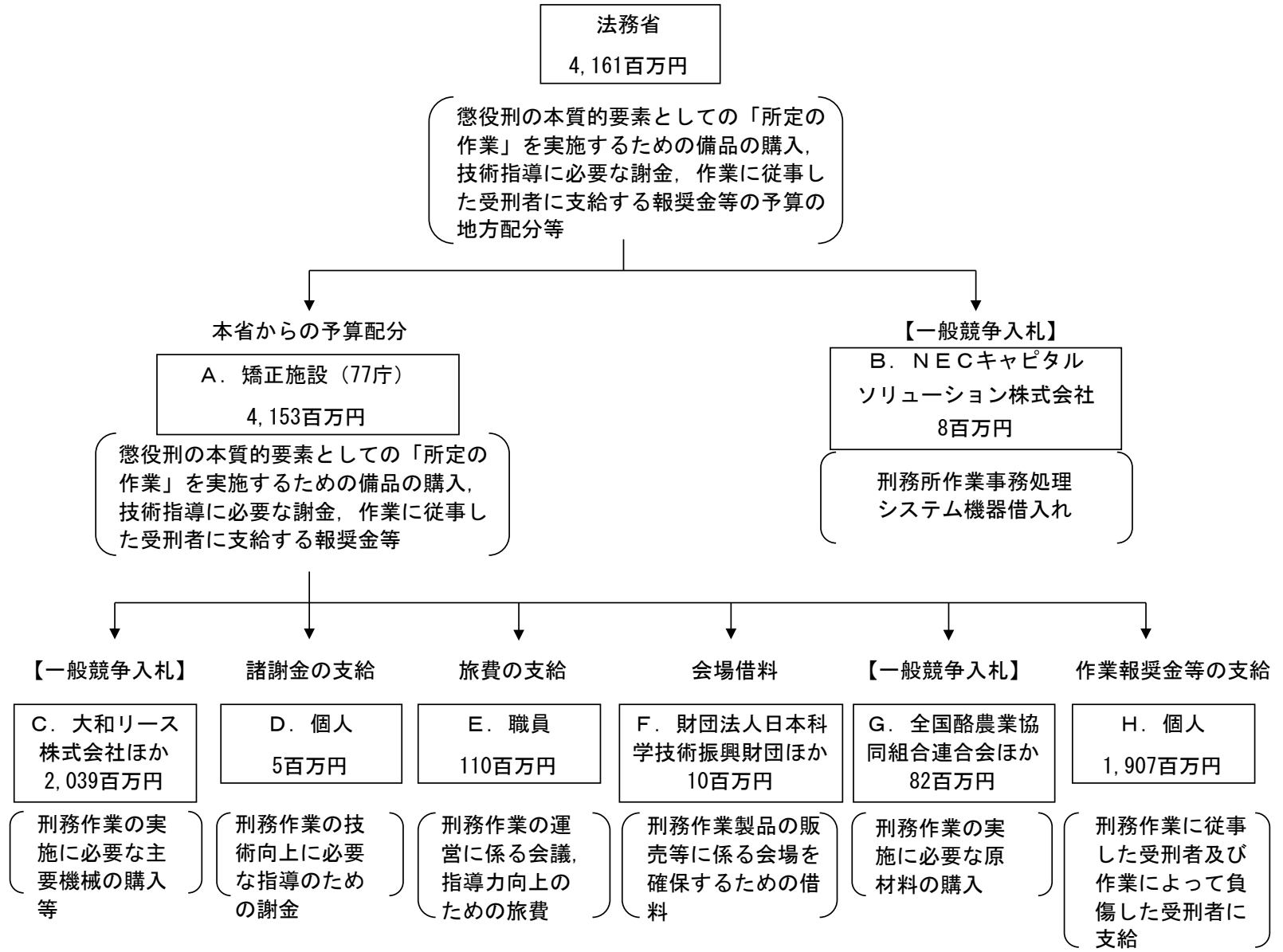
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策	-								
		施策	-								
		測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度	
	実績値		-	-	-	-	-	-	-		
	目標値	-	-	-	-	-	-	-			
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
	-										
	アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-	-						
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
			成果実績	-	-	-	-	-	-	-	
目標値			-	-	-	-	-	-	-		
達成度		%	-	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											
-											

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	刑務作業の実施は刑法に規定する懲役刑であり、国主体の事業であるところ、受刑者の勤労意欲を向上させ、出所後の社会復帰を目的に実施している事業であることから、国民や社会のニーズを的確に反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	同上
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	刑務作業の実施は刑法に規定する懲役刑そのものであることから必要かつ適切な事業であり、政策体系の中で優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	原則として一般競争入札を利用するなど、競争性を確保しながら支出先を選定しているが、これらのうち、契約額が78百万円の刑務作業に必要な機械の購入案件につき一者応札であったため、仕様内容を見直すなど、次回の入札に向けて改善の検討を進める。 また、刑務作業製品の販売等に係る会場を確保するための借料につき、競争性のない随意契約を締結しているが、施設周辺に適当な面積を有する会場が1箇所しかないため、当該会場と競争性のない随意契約を締結しているものである。
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	懲役刑を執行する上で必要不可欠である主要機械等の購入や、受刑者の出所後当面の生活費となる作業報奨金等の経費として支出されている。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-	

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		-	-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	刑事施設で懲役刑を受刑させ、出所後の社会生活に向けた勤労意欲の向上、職業的な知識や技能の習得などの取組を実施している。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	同上		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
点検・改善結果	点検結果	刑務作業は、各施設の実情を踏まえて作業量を確保しており、厳しい予算事情の中、競争入札の実施による効率的な予算執行に努めているほか、作業指導者に対する謝金の執行、作業運営等に係る会議の開催、刑務作業を民間に広く周知するための活動など、各施設の実情に合わせた効率的な予算執行を行っている。				
	改善の方向性	各施設の実情を踏まえた刑務作業量を確保し、引き続き、競争入札の実施による効率的な予算執行に努めるとともに、就業見込人員について精査を行うなどして経費の削減を図る。				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	0043	平成23年度	0039,復興-0006	平成24年度	0042	
平成25年度	0029	平成26年度	0023	平成27年度	0022	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位：百万円)

A.広島刑務所			B.NECキャピタルソリューション株式会社		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
予算配分	所定の作業を実施するための備品の購入等	211	その他	刑務作業事務処理システム機器賃貸借	8
計		211	計		8
C.大和リース株式会社			D.個人A		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
物品購入	仮設作業倉庫	95			
計		95	計		0
E.個人A			F.財団法人日本科学技術振興財団		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
			その他	全国矯正展会場借料	6
計		0	計		6
G.全国酪農業協同組合連合会			H.個人A		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
その他	飼料等の購入	9	その他	刑務作業に従事した受刑者に対する作業報奨金	3
計		9	計		3

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	広島刑務所	-	所定の作業を実施するための備品の購入等	211	-	-	-	
2	加古川刑務所	-	所定の作業を実施するための備品の購入等	123	-	-	-	
3	網走刑務所	-	所定の作業を実施するための備品の購入等	110	-	-	-	
4	大阪刑務所	-	所定の作業を実施するための備品の購入等	109	-	-	-	
5	府中刑務所	-	所定の作業を実施するための備品の購入等	97	-	-	-	
6	札幌刑務所	-	所定の作業を実施するための備品の購入等	92	-	-	-	
7	名古屋刑務所	-	所定の作業を実施するための備品の購入等	77	-	-	-	
8	岡山刑務所	-	所定の作業を実施するための備品の購入等	71	-	-	-	
9	千葉刑務所	-	所定の作業を実施するための備品の購入等	67	-	-	-	
10	福島刑務所	-	所定の作業を実施するための備品の購入等	61	-	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	NECキャピタルソリューション株式会社	8010401021784	刑務作業事務処理システム機器賃貸借	8	-	-	-	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	大和リース株式会社	4120001077476	仮設作業倉庫	95	一般競争入札	2	92.7%	-
2	津田駒工業株式会社	3220001004330	糊付機の更新	78	一般競争入札	1	91.2%	-
3	協和機工株式会社	9011801007091	集じん装置一式外	74	一般競争入札	3	92.7%	-
4	株式会社モトヤ	9120001077570	オフセット印刷機外	36	一般競争入札	3	88.9%	-
5	富永物産株式会社	6010001052075	植物油タンク、苛性ソーダタンク等の更新	33	一般競争入札	2	94.6%	-
6	日本欄罫工業株式会社	7120001048805	印刷用CTP製版システム等購入	18	一般競争入札	4	99.6%	-
7	株式会社本田謙工機	3330001004253	ダブルエンドテナー等購入	18	一般競争入札	3	96.8%	-
8	株式会社真和	5470001002200	CTP製版機等更新	17	一般競争入札	3	94.3%	-
9	有限会社ぺんてる堂	6240002014976	工場移設に係る初度備品	14	一般競争入札	6	90.2%	-
10	日立建機日本株式会社	7030001037230	油圧ショベル等の購入	14	一般競争入札	5	82%	-

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	被收容者の作業指導に係る指導謝金	0.9	-	-	-	-
2	個人B	-	被收容者の作業指導に係る指導謝金	0.4	-	-	-	-
3	個人C	-	被收容者の作業指導に係る指導謝金	0.3	-	-	-	-
4	個人D	-	被收容者の作業指導に係る指導謝金	0.3	-	-	-	-
5	個人E	-	被收容者の作業指導に係る指導謝金	0.2	-	-	-	-
6	個人F	-	被收容者の作業指導に係る指導謝金	0.2	-	-	-	-
7	個人G	-	被收容者の作業指導に係る指導謝金	0.2	-	-	-	-
8	個人H	-	被收容者の作業指導に係る指導謝金	0.1	-	-	-	-
9	個人I	-	被收容者の作業指導に係る指導謝金	0.1	-	-	-	-
10	個人J	-	被收容者の作業指導に係る指導謝金	0.1	-	-	-	-

E

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	刑務作業の運営に必要な会議等に係る旅費	0.5	-	-	-	-
2	個人B	-	刑務作業の運営に必要な会議等に係る旅費	0.4	-	-	-	-
3	個人C	-	刑務作業の運営に必要な会議等に係る旅費	0.3	-	-	-	-
4	個人D	-	刑務作業の運営に必要な会議等に係る旅費	0.3	-	-	-	-
5	個人E	-	刑務作業の運営に必要な会議等に係る旅費	0.3	-	-	-	-
6	個人F	-	刑務作業の運営に必要な会議等に係る旅費	0.3	-	-	-	-
7	個人G	-	刑務作業の運営に必要な会議等に係る旅費	0.3	-	-	-	-
8	個人H	-	刑務作業の運営に必要な会議等に係る旅費	0.2	-	-	-	-
9	個人I	-	刑務作業の運営に必要な会議等に係る旅費	0.2	-	-	-	-
10	個人J	-	刑務作業の運営に必要な会議等に係る旅費	0.2	-	-	-	-

F

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	財団法人日本科学技術振興財団	5010005016795	全国矯正展会場借料	6	随意契約 (公募)	-	100%	-
2	株式会社オオケン	1240001001765	矯正展(地方)開催に係る会場借料	2	随意契約 (その他)	-	100%	-
3	株式会社ジェイアール東日本企画	7011001029649	矯正展(地方)開催に係る会場借料	1	随意契約 (その他)	-	100%	-

G

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	全国酪農業協同組合連合会	3010405007306	飼料等の購入	9	一般競争入札	2	89%	-
2	オホーツク網走農業協同組合	9460305001325	飼料等の購入	8	随意契約 (少額)	-	-	-
3	加々見商店	-	肥料等の購入	6	随意契約 (少額)	-	-	-
4	有限会社マルワ旭川農園	6450002005293	肥料等の購入	3	一般競争入札	2	93.2%	-
5	有限会社徳永商会	8340002011206	肥料等の購入	2	随意契約 (少額)	-	-	-
6	株式会社ササキ種苗	7460301000448	火山灰の購入	3	随意契約 (少額)	-	-	-
7	湯浅工業株式会社	9460301003291	肥料等の購入	1	随意契約 (少額)	-	-	-
8	帯広市川西農業協同組合	1460105000542	肥料等の購入	1	随意契約 (少額)	-	-	-
9	北海道コスモグリーン株式会社	4430001021832	農業用薬剤等の購入	1	随意契約 (少額)	-	-	-
10	MPアグロ株式会社	4430001033605	肥料等の購入	1	随意契約 (少額)	-	-	-

H

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	刑務作業に従事した受刑者に対する作業報奨金	3	-	-	-	-
2	個人B	-	刑務作業に従事した受刑者に対する作業報奨金	3	-	-	-	-
3	個人C	-	刑務作業に従事した受刑者に対する作業報奨金	2	-	-	-	-
4	個人D	-	刑務作業に従事した受刑者に対する作業報奨金	2	-	-	-	-
5	個人E	-	刑務作業に従事した受刑者に対する作業報奨金	2	-	-	-	-
6	個人F	-	刑務作業に従事した受刑者に対する作業報奨金	2	-	-	-	-
7	個人G	-	刑務作業に従事した受刑者に対する作業報奨金	2	-	-	-	-
8	個人H	-	刑務作業に従事した受刑者に対する作業報奨金	2	-	-	-	-
9	個人I	-	刑務作業に従事した受刑者に対する作業報奨金	2	-	-	-	-
10	個人J	-	刑務作業に従事した受刑者に対する作業報奨金	2	-	-	-	-
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							<input type="checkbox"/> チェック	